

0 0

行動経済学の活用で良い選択への誘導可能将来のルーズな選択に無自覚なほど損失大自滅的な行動の背景には目先の利益の優先 Á

池田 新介 大阪大学教授

り)」と呼ばれる選択上のバ割引」とか「現在バイアス(偏 滅的な選択の多くが、 だばこをやめられない、食べ 借金を重ねてモノを買う、 行動経済学によって解明され イアスと関連していることが の利益にならないこうした自 すぎる。長い目でみれば自分 双曲 食べ

や摂生の計画を立てても、 双曲的な人は、立派な蓄積

> 純」な人は、蓄積や節制の実理由は2つある。第一に、「単理由は2つある。第一に、「単 をもたらすのは、とりわけそ 生を引き起こして大きな損失 双曲割引が過小貯蓄や不摂

> > り手は、自分のデフォルト(債

でも「単純」な部分のある借

通常、多少とも軽減される。 分がほごにしない計画を立てを自覚し、将来のルーズな自 て矛盾なくそれを実行する。 持つ「二重人格者」であること 現在と将来で異なる忍耐力を 「目先の利益優先 (双曲性) 」 図は、実際に人々の行動が、

ち、計画 を聞き、 を「賢明」と判定した。 人を「単純」、そうでない人

これに対し「賢明」な人は、もるので大きな損失を被る。 大きく変わる。人々が「腎体が「賢明」か「単純」・ な回答者にその傾向が強い ープの中でも、特に「単純」 -ことが読み取れる。 自滅選択への対処法も、

を聞き、 双曲的な回答者のう際に宿題をいつごろしたか」 ごろやる計画であったか」「実 生時代に休み中の宿題をいつ 計画より後に宿題をした

が強い②さらに双曲的なグル ないグループよりもその傾向 ①双曲的なグループはそうで な歯)のいずれについても、 **慣)、**不摂生 (肥満、 財への依存(飲酒、喫煙の習 込みを断られた経験)、習慣(カード負債、借り入れ申し 調査結果からは、過剰負債 不健康

金などの強制貯蓄)を提供し 己を拘束できるコミットメン であれば、将来のルーズな自 (公約) の手段 (例えば年 人々が「賢明」 かで

前払いというコミットメント利用料を払っている。料金の 料金の

な被験者はせいぜい十数%でのネット調査でも、「賢明」 のネット調査でも、「賢明」施した経済実験や前述の筆者 制問題に無自覚だ。英ヨー 学生を対象に実施したフィ 学のウェイカン・ウォン氏が と識別されている。 あり、多くの被験者が「単純 ぎず、81・3%が多少とも自 な学生は全体の12・4%にすルド実験によれば、「賢明」 大学のジョン・ヘイ氏らが実 また、シンガポール国立大

選択は改善されない。彼らのント手段や情報を提供しても を許しながら、選択の枠組み行動経済学では、選択の自由 を変えるだけで良い方向に誘 は、何らかの介入が必要だ。行動を改善し厚生を高めるに

> すことで大きな利潤を得る。 延に大きなペナルティ

返済遅 な借り

を科

私たちは、マーケッ

トやコ

将来の行動 自覚カギ

題になる。合理的な選択に必 整備することが重要な政策課 介入で長期利益へ誘導も

の有無と「賢明」「単純」の の有無と「賢明」「単純」の の有照を10月実施)の結果だ。 の年10月実施)の結果だ。 に要求する金利」と「1年後を受け取るのを1週間待つの

な行動をとりたくなる。それを先延ばしにして現在志向的

行に移す段階になると、それ

が自滅的な選択につながる。

す る

ただ、

先延ばしの誘惑を感

先延ばしにするので、将来の 行を次から次へとドミノ式に を双曲的と識別した。「単純」尋ね、前者の方が高い回答者期するのに要求する金利」を か「賢明」かについては、「学 の同様の受け取りを1週間延

倒な仕事を持ち越しても、い計画を実行する人もいる。面

じても、負けずに前に立てた

とを知っているからだ。経済

れはまた同じ窮状に陥るこ

とで、長期的な健康を考慮 た食物の選択を助けられる。

ことを提案した。彼らは、そ思表示をするよう義務づける

に加入・非加入の明示的な意 業に雇用されてから30日以内 う問題を解決するために、

べた米カリフォルニア大学バ米国のスポーツジム会員を調 多くないという証拠もある。しかし「賢明」な人はそう 肥満 不健康 な歯 デラヴィグナステファノ・ よれば、 校の

している。

に大きな効果があったと報告 うした改善策が貯蓄率の向

者、自覚しない人を「単純(ナッド、スマート)」な意思決定ッド、スマート)」な意思決定ッド、スマート)」な意思決定

は積み上がって大きくなる。が小さくても、その厚生損失

ーズな自分に無自覚な程度

ブ)」な選択者という。

な行動を利用して利益を得よ

第二に、消費者の「単純」

者金融では大抵、入会当初にば、その分傷口が広がる。例ば、その分傷口が広がる。例がしたがら消費

使う場合より 回しかジムを 平均的な会員 めで契約した 氏らの研究に に、回数券を 利用しないの 月決

栄養成分表示を普及させるこ 応策の一つだ。例えば食品の 要な情報を提供することも対 組みだけを変える。座りそうい選択肢が選ばれるように枠選択した際に、むしろ望まし される一方、合理的な選択者選択は長期利益の方向に誘導 従来の介入とこの点が違う。 ナリズム」が提案されている。 導する「リバタリアンパタ 引制約など一律に網をかける は影響を受けない なところに座るべきイスをす れる方法だ。バイアスのある 双曲割引などのバイアスで (けない。 課税や取べ、 合理的な選択者

企

で実際に効果を上げている。引き上げる方式を導入する形別さいとに拠出率を自動的に 企業年金に、自動登録制や、 対処するために、公的年金や 対処するために、公的年金や の書式について、 な選択を改善できるわけだ。 るので、デフォルト(初期設って惰性で選択する傾向があ 双曲的な人は選択の面倒を嫌 日本では処方箋の医薬品欄 を変えることで、双曲的

大きな損失を被っている。 ーズな自分を過信したために

手を勧誘しておいて、 って双曲的で「単純」 手たちは、低い実効金利を使 は以前から消費者の選択 そらく市場のプレーヤ かすめ取る方法にもなる。

キャロル氏らは、自動登録制学(MIT)のガブリエル・ ることで、ダイエットを計画め料金を絶妙な水準に設定す 期設定の水準に低迷するといでは年金保険料の積立率が初 り、誘導的な介入も自滅択バイアスを自覚しな 結果的に高い利用料を払わせ される。ジムの経営者は月決 の本質的な解決とならない。 る。こう考えると、 する「単純」な人たちを集め、 特売のジャンクフードに誘導 ンビニでレジの前に置かれた 米マサチューセッツ工科大 、誘導的な介入も自滅選択バイアスを自覚しない限。こう考えると、人々が選

フォルトに頼らない、自主選択バイアスを自覚させ、 がら、長期的な政策の方向とを短期的・補完的に活用しな つくることが重要だろう。 な選択を前提とする枠組みを しては、教育の機会を設けて 選択枠組みを工夫する介入 自主的 デ

門はマクロ理論 まれ。大阪大経済学博士。専いけだ・しんすけ 57年生

に変わり、対処法がどう違っで双曲割引の影響がどのよう 択者が「賢明」か「単純」か 学の知見を踏まえながら、選本稿では、最近の行動経済

済に遅延があると大きなペナ 利を設定しているが、一度返 限り勧誘のための低い実効金

てくるかについて考えたい

[目先の利益優先」が行動に与える影響 「目先の利益優先」あり「単純」 「目先の利益優先」あり「賢明」 「目先の利益優先」なし 30 20 10 喫煙 習慣者 カード負債保有者 飲酒 習慣者 もずっと高

たち (C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。

000

の圧縮に役立っている。 発医薬品をデフォルトにした発医薬品をデフォルトにした の圧縮に役立っている。 11年 の上縮に役立っている。 る技術自体は、使いようによにとって人々の選択を誘導すただ、行動バイアスを逆手 いる。消費者金融市場の貸しアスを利用する知恵を持って っては他人から私的な利益を

掲載日 2012年03月26日 日本経済新聞朝刊 025ページ